

脱炭素・海洋プラスチック問題解決に貢献する バイオプラスチック



キーワード バイオプラスチック、バイオマスプラスチック、
海洋生分解性プラスチック、熱可塑性デンプン

宇山 浩 UYAMA Hiroshi

応用化学専攻 教授

物質機能化学講座 高分子材料化学領域 宇山研究室



ここがポイント！【研究内容】



近年、脱炭素社会構築に向けたプラスチックの資源循環が社会的に求められている。宇山研究室はカーボンニュートラルに貢献するバイオマスプラスチックや廃棄時の環境負荷を低減する生分解性プラスチックの実用化に向けた産学連携研究を積極的に推進している。植物油脂の良さを引き出した機能性コーティング材料を屋根用塗料として実用化するとともに、独自開発の熱可塑性デンプンと生分解性プラスチックのブレンドを基盤とする海洋生分解性バイオマスプラスチックの開発プラットフォームを立上げ、製品試作に取り組んでいる。

応用分野 プラスチック、包装材料、日用品

論文・解説等

- [1] Uyama, Hiroshi, *Polymer Journal* 2018, 50, 1003-1011, doi: 10.1038/s41428-018-0097-8
- [2] Uyama, Hiroshi et al., *Chemical Reviews* 2016, 116, 2307-2413, doi: 10.1021/acs.chemrev.5b00472
- [3] 宇山浩ら, ポリ乳酸樹脂組成物およびポリ乳酸樹脂用添加剤, 特許5057874

連絡先 URL

<http://www.chem.eng.osaka-u.ac.jp/~uyamaken/>

